

デーリー東北
2020年(令和2年)9月27日(日曜日) (17)

張さん(工大) 学会奨励賞

耐寒性コンクリ共同研究評価

日本コンクリート工学会東北支部
学会が顕彰する本年度の学会賞で、
八戸工業大大学院博士後期課程の
張萌さん(中国・新疆ウイグル自治
区出身)が奨励賞、上北建設(十
和田市)の音道薫さんが技術賞をそ
れぞれ受賞した。2018年に共同
で行った耐寒性コンクリートの研究
や実装が評価された。
(井上周平)

上北建設(十和田) 音道さん技術賞

上北建設は18年、国道1
03号青森山バイパス(十
和田市)の1号橋架橋工事
に着手。十和田湖に程近く
寒さの厳しい環境のため、
耐寒性の高いコンクリート
が必要だったが、自社製造
が困難だったため、同大に
協力をお願いした。
張さんは地元の新疆大で
土木工学を専攻し、冬季に
は氷点下20〜30度になる地
元の気候に合った耐寒性コ
ンクリートの研究に従事。
卒業後は新疆大教員を経
内部に含ませることで耐寒
性が増す。張さんはこれま
に八戸工業大へ留学。指導
を受ける阿波稔教授の勧め
で同社との共同研究に参画
することになった。
コンクリートは製造の
際、なるべく小さい気泡を
内部に含ませることで耐寒
性が増す。張さんはこれま
での研究成果を基に、現場
の環境に適した材料配分
や、屋外でも気泡が抜けに
くい製造方法をアドバイス
して完成に貢献。19年7月
に札幌市で開かれた同学会
の総会で、現場で施工を担
当した音道さんとそれぞれ
論文を発表し、高い評価を
受けた。
本年度で博士課程を終え
て帰国する予定の張さん。
「屋内とは異なる環境での
研究の応用がととも勉強に
なった。新疆は従来のコン
クリートの劣化が激しいの
で、この経験を生かせたら」と
意欲を見せる。阿波教授
は「研究者として誠実な姿
勢が印象的。今後も日中で
成果を情報共有していきたい」とたたえた。



表彰状と盾を手に、受賞の喜びを語る張萌さん

提供された写真のため掲載できません

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。